

趣 意 書

明治大学理工学部応用化学科は1960年（昭和35年）、神田駿河台に工学部工業化学科として産声を上げ、1964年に工学部は生田キャンパスへ移転し、1989年（平成元年）には工学部が理工学部へ改組されました。

2006年には、工業化学科から応用化学科へ名称変更され、2010年に本学科は50周年を迎えました。この間約6000名もの多くの人材を産業界、研究機関等へ輩出してまいりました。

また現在応用化学科が使用している理工学部第2校舎1号館は、老朽化が進み、建て替えることになり、2011年秋に完成の予定です。

このように発展している応用化学科ですが、今後とも研究、教育さらに社会貢献という第三の使命をも全うするためには、さまざまな施策の実施が必要であり、その財政的基盤を確立することが不可欠です。

そこで、50周年に際して「明治大学理工学部応用化学科教育・研究振興基金」を設定すべきと考え、これを2009年11月21日開催の「応用化学科の集い」において諮り賛同を得、2010年4月に「明治大学理工学部応用化学科教育・研究振興基金規程」を制定するにいたりしました。

つきましては、明治大学理工学部応用化学科にご関係の方々には、ここに本学科のより一層の強化のために基金へのご支援をお願い申し上げます。

2010年8月 吉日

明治大学理工学部応用化学科

学 科 長 永 井 一 清（第25期卒業生）

明治大学応用化学科50周年記念事業実行委員会

発起人代表 倉 田 武 夫（第5期卒業生）

募金へのご協力を我々教員からもお願い致します。

永井一清 倉田武夫 宮腰哲雄

中村利廣 茅原一之 古谷英二

北野大 長尾憲治 相澤守

西浜忠明 石川謙二 大竹芳信

深澤倫子 土本晃久 渡邊友亮

室田明彦 鈴木義丈 石川喜章